



幕 監 査 第 89 号
令和元年 8 月 27 日

幕別町長 飯 田 晴 義 様

幕別町監査委員 八重柏 新 治



幕別町監査委員 藤 谷 謹 至



平成30年度幕別町基金の運用状況審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第241条第5項の規定により審査に付された平成30年度幕別町基金運用状況について審査しましたので、その結果について次のとおり意見を提出します。

平成30年度幕別町基金の運用状況審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

幕別町各基金の運用状況

2 審査の期間

令和元年7月12日から令和元年8月27日まで

3 審査の手続

審査に付された各基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性を検証するため、関係帳簿等との照合その他通常実施すべき審査手続を実施したほか、基金の運用状況の妥当性を検証するため、関係書類を審査した。

第2 審査の結果

審査に付された各基金の運用状況を示す書類の計数は、関係帳簿等と照合した結果誤りのないものと認められ、また、基金の運用状況は妥当であると認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

当年度の運用の状況は次のとおりである。

区 分		平成29年度末 現 在 高	平成30年度中		平成30年度末 現 在 高
			積 立 額	取 崩 額	
積立 基金	財政調整基金	1,334,000,000	172,000,000	120,000,000	1,386,000,000
	減債基金	177,000,000	101,000,000	100,000,000	178,000,000
	まちづくり基金	1,493,703,183	261,716,762	368,366,000	1,387,053,945
	一 般 会 計 計	3,004,703,183	534,716,762	588,366,000	2,951,053,945
	国民健康保険基金	80,139,616	80,188,330	0	160,327,946
	介護給付費準備基金	196,210,878	254,052	61,406,000	135,058,930
	農業集落排水事業償還基金	14,121,394	1,412	855,506	13,267,300
	積 立 基 金 計	3,295,175,071	615,160,556	650,627,506	3,259,708,121
定額運 用基金	土地開発基金	535,631,597	2,530,738	2,233,398	535,928,937
	現 金	354,944,385	1,248,340	1,282,398	354,910,327
	土 地	180,687,212	1,282,398	951,000	181,018,610
	定額運用基金 計	535,631,597	2,530,738	2,233,398	535,928,937
合計	現 金	3,650,119,456	616,408,896	651,909,904	3,614,618,448
	土 地	180,687,212	1,282,398	951,000	181,018,610

(注) 決算年度末現在高は、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額304,088,309円を除く。

財政調整基金は、前年度末に比して52,000,000円（3.9%）増加している。これは、172,000,000円の積み立てがあった一方、120,000,000円の取り崩しがあったことによる。

減債基金は、前年度末に比して1,000,000円（0.6%）増加している。これは、101,000,000円の積み立てがあった一方、100,000,000円の取り崩しがあったことによる。

まちづくり基金は、前年度末に比して106,649,238円（7.1%）減少している。これは、寄付金などにより261,716,762円の積み立てがあった一方、368,366,000円の取り崩しがあったことによる。

国民健康保険基金は、前年度末に比し80,188,330円（100.1%）増加している。これは、80,188,330円の積み立てに対し、取り崩しがなかったことによる。

介護給付費準備基金は、前年度末に比し61,151,948円（31.2%）減少している。これは、254,052円の積み立てがあった一方、61,406,000円の取り崩しがあったことによる。

農業集落排水事業償還基金は、前年度末に比して854,094円（6.0％）減少している。これは、1,412円の積み立てがあった一方、855,506円の取り崩しがあったことによる。

土地開発基金は、前年度末に比して297,340円（0.06％）増加している。これは、現金で1,248,340円の積み立てがあった一方、1,282,398円の取り崩しがあり、土地では1,282,398円の積み立てがあった一方、951,000円の取り崩しがあったことによる。

む す び

一般会計の平成30年度末の基金残高は2,951,054千円で、前年度末に比して53,649千円（1.8％）減少している。これは、534,717千円積み立てられた一方、588,366千円の取り崩しがあったためである。

当年度決算剰余金で304,088千円が基金に繰り入れられることになったことは、厳しい財政状況の中であって努力の跡が伺え一定の評価ができる。今後も歳入の確保と経費の節減に努め、基金残高の充実に努められたい。